

【令和8年 2月分】

○浜北環境センター維持管理の状況に関する情報

施設区分 一般廃棄物最終処分場

■埋立一般廃棄物の種類及び数量

対象期間 令和8年2月1日～令和8年2月28日

廃棄物の種類	処理量	単位
焼却灰(飛灰処理物含む)	194.87	t/月
不燃破砕物	0.00	t/月
側溝汚泥	0.60	t/月
脱水汚泥	0	t/月
計	195.47	t/月

■残容量調査(測量データ)

単位 m³

調査年月	最終覆土量	残廃棄物量	合計
令和3年3月	11,693	19,764	31,457
令和4年3月	11,693	19,572	31,265
令和5年3月	11,693	19,479	31,172
令和6年3月	11,693	19,324	31,017
令和7年3月	11,693	16,403	28,096

■施設の点検

対象期間 令和8年2月1日～令和8年2月28日

	擁壁等	遮水工	雨水調整池	浸出水処理施設	防凍措置
点検実施年月日	令和8年2月24日	令和8年2月24日	令和8年2月24日	令和8年2月24日	該当なし
点検方法	目視	遮水機能診断システム	目視	目視等	該当なし
異常等の有無	無	無	無	無	
点検結果に係る措置	無	無	無	無	

■水質検査の実施状況と措置

対象期間 令和8年2月1日～令和8年2月28日

採取場所	観測井戸NO.1(上流)	観測井戸NO.2(下流)	観測井戸NO.3(公園)	処理水槽	処理水槽
採取種類	地下水	地下水	地下水	放流水	放流水
採取年月日	令和8年2月9日	令和8年2月9日	令和8年2月9日	令和8年2月9日	令和8年2月19日
検査結果取得年月日	令和8年3月2日	令和8年3月2日	令和8年3月2日	令和8年3月2日	令和8年3月2日
電気伝導度	8.4 mS/m	13.3 mS/m	5.2 mS/m		
水素イオン濃度	5.6	6.2	6.4	8.1	8.1
BOD				0.5mg/l未満	1.7mg/l
SS				1.0mg/l未満	1.9mg/l
鉱物油類				0.5mg/l未満	0.5mg/l未満
動植物油類				0.5mg/l未満	0.5mg/l未満
よう素消費量				1mg/l未満	1mg/l
判定	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし

○浜北環境センター維持管理の状況に関する情報

付表1.放流水採水結果全項目(4回/年)

mg/L

水質検査項目	放流水				原水	基準値 (以下)
	R7.5.12	R7.8.8	R7.11.11	R8.2.9	R7.11.11	
pH	7.4	8.1	7.8	8.1	8.7	5.8~8.6
BOD	44	1.1	<0.5	<0.5	55	60
COD (Mn)	15	18	12	8.8	24	—
SS	<1	<1	1	<1	6.2	60
不揮発性鉱物油類	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	5
不揮発性動植物油脂類	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	30
よう素消費量	3	2	<1	<1	13	220
DO	—	—	—	—	—	—
大腸菌群数	—	—	—	—	—	—
カドミウム及びその化合物	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.03
シアン化合物	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1
有機燐	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1
鉛及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
六価クロム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.5
砒素及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005
アルキル水銀化合物	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	ND
ポリ塩化ビフェニル	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.003
フェノール類含有量	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	5
銅含有量	<0.1	<0.1	0.1	0.1	<0.1	3
亜鉛含有量	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	2
溶解性鉄含有量	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	10
溶解性マンガ含有量	0.1	0.1	0.1	0.1	0.8	10
クロム含有量	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	2
ほう素及びその化合物	0.1	0.1	0.1	0.1	<0.1	10
ふっ素及びその化合物	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	8
トリクロロエチレン	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
テトラクロロエチレン	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.1
ジクロロメタン	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.2
四塩化炭素	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
1,2-ジクロロエタン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04
1,1-ジクロロエチレン	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	1
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	0.4
1,1,1-トリクロロエタン	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	3
1,1,2-トリクロロエタン	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	0.06
1,3-ジクロロプロペン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
チウラム	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	0.06
シマジン	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.03
チオベンカルブ	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.2
ベンゼン	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
セレン及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
窒素含有量	20	12	20	14	22	—
アンモニア性窒素	14	0.48	0.09	0.08	9.5	—
硝酸性窒素	0.7	8.9	17	12	1.3	—
亜硝酸性窒素	0.39	0.4	<0.02	<0.02	0.95	—
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	6.7	9.5	17.0	14	6.1	200
塩化物イオン	—	—	3600	—	13000	—
1,4-ジオキサン	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.5

アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物:アンモニア性窒素に0.4を乗じたもの、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素の合計量